

新たな移動手段の 柔軟な仕組みの構築について

2024. 12. 13 規制改革推進会議 地域産業活性化WG（第3回）

大分県別府市長 長野 恭紘

1
地方創生の鍵は
柔軟な仕組み

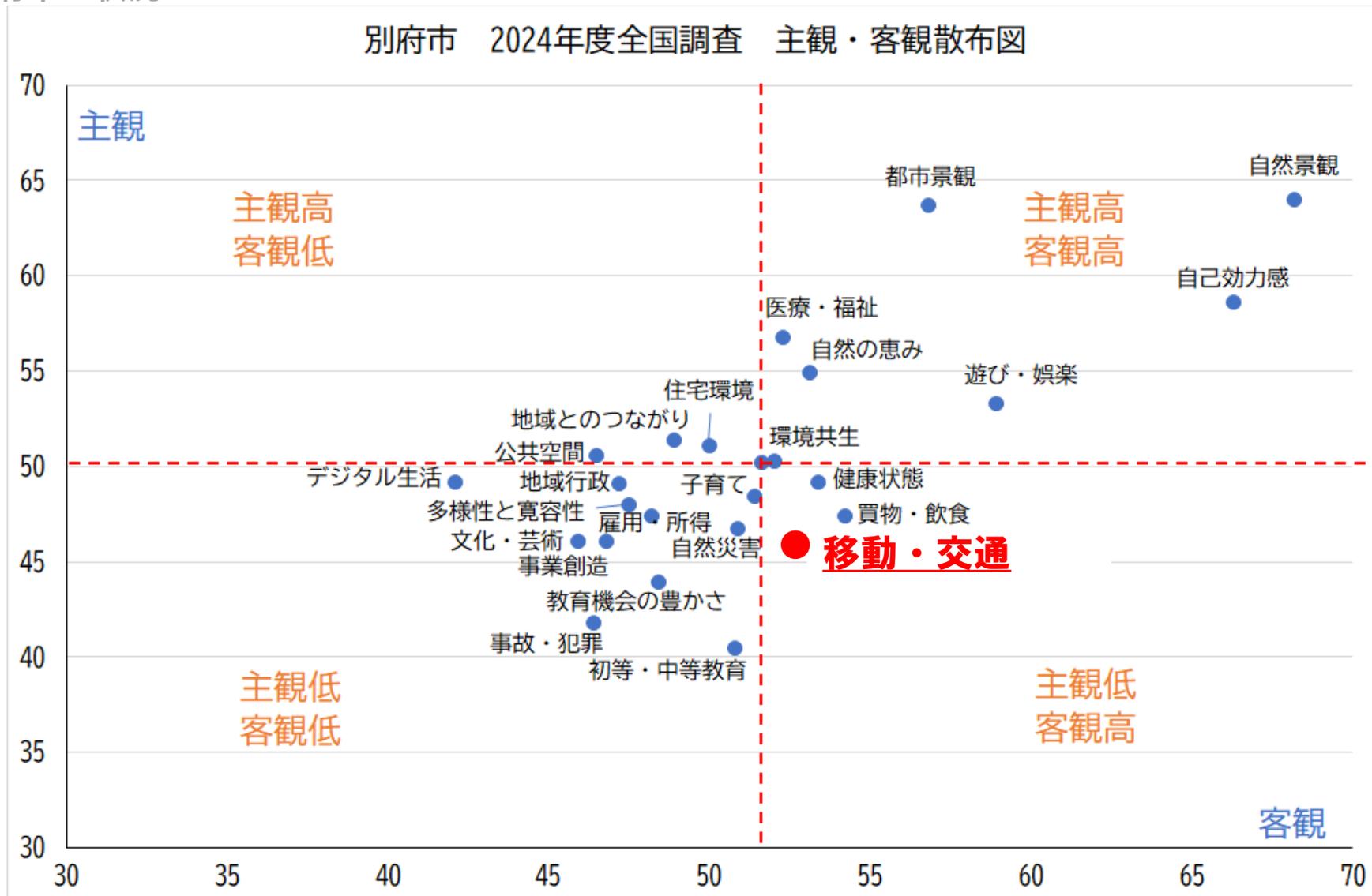
観光地だからこそ
柔軟な仕組み



3

地域幸福度指標の概要

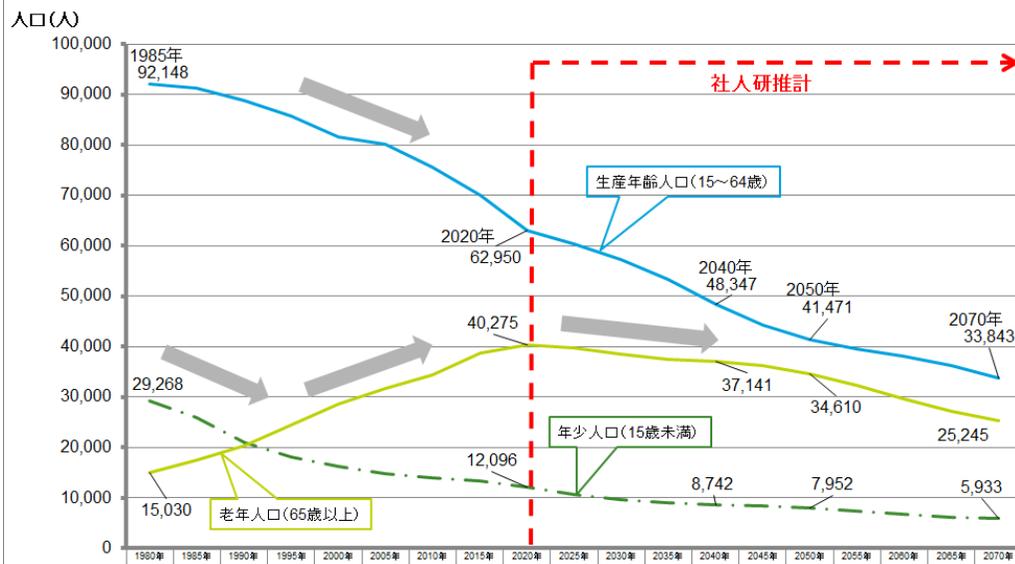
別府市の状況



5

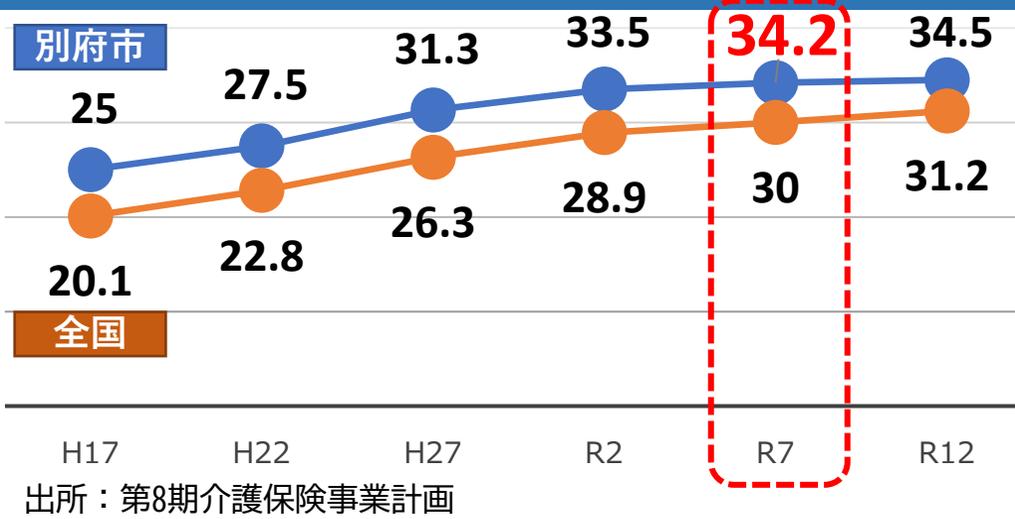
別府の少子高齢化・人口減少

年齢3区分別人口の推移、将来推計(1980年～2050年)



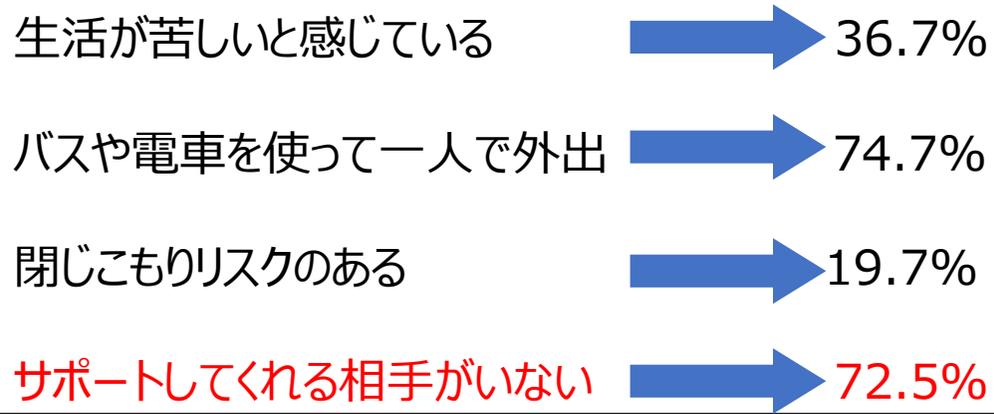
出所：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

高齢化率



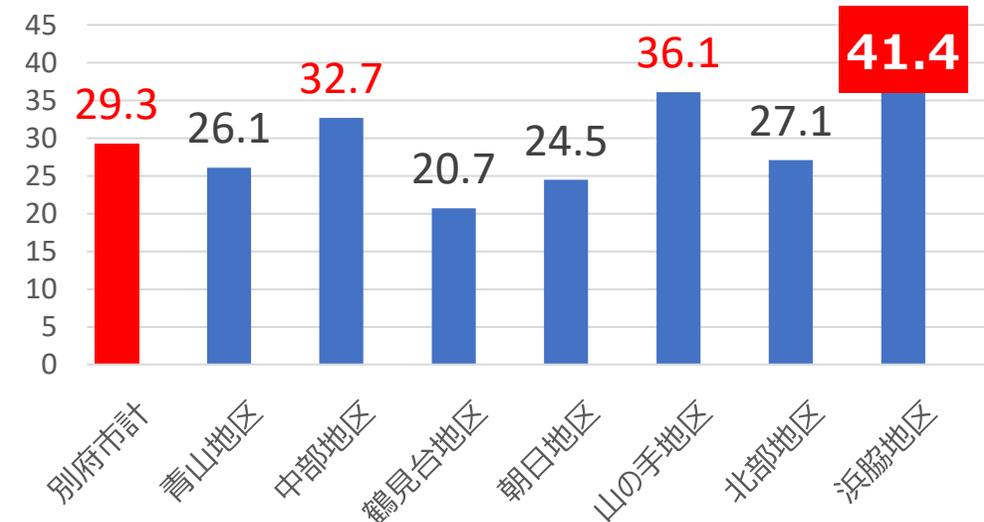
出所：第8期介護保険事業計画

高齢者の意見



出所：第8期介護保険事業計画

一人暮らし高齢者率



出所：第8期介護保険事業計画

別府市の観光客数と宿泊客数の推移



出所:別府市観光動態要覧

別府入港のクルーズ船 実績・予定



(令和6年8月1日現在)

別府市のインバウンド宿泊者数 (令和6年4月~11月)



出所:観光予報プラットフォーム

- ・本市を訪れる外国人が **急回復**傾向
- ・クルーズ次年度以降、**増加**予定
- ・インバウンドの宿泊者数が 10月から**急増**

【ブッキング・ドットコム】

Booking.com上の世界の予約動向を掘り下げ、2024年注目の旅先トレンドとして10の目的地を発表。日本からは日本有数の温泉地である大分県別府市が選出

【ビッグロープ】 第15回みんなで選ぶ温泉大賞

西日本の横綱(1位)は8年連続で別府温泉郷
※行ってよかった温泉地がわかるランキングです。

訪日外国人が対前年度同月比 **140%の伸び**

別府駅観光案内所の来場者状況

年度	来場者数 (日本+外国人)	うち外国人 (4~翌3月)	うち外国人 (4~11月)
令和6	***	***	54,590 ※120%UP
令和5	157,743	72,562	45,584
令和4	41,410	***	***

別府市の外国人観光客ベスト10 (2023年)

順	国・地域名	観光客数	構成比	主なライドシェアアプリ
1	韓国	99,795	35.4	Tada、Kakao T、Mobicon
2	香港	63,790	22.7	Uber、Grab
3	台湾	27,830	9.9	Uber、Grab
4	タイ	19,263	6.8	Grab、AirAsia Ride、Bolt
5	アメリカ	17,029	6.0	Uber、Lyft、Via、Bolt
6	中国	11,029	3.9	DiDi、Uber
7	シンガポール	10,417	3.7	Grab、ComfortDelGro Zig
8	オーストラリア	4,723	1.7	Uber、DiDi、Ola
9	カナダ	2,997	1.1	Uber、Lyft
10	イギリス	2,512	0.9	Uber、Bolt、Ola、Via

出所:別府市観光動態要覧(構成比まで)

(単位:人、%)

観光案内所のヒアリング調査

- 今年10月に入り、インバウンドが**急増**
※観光案内所に来場した外国人が日本人を**超えた**
- 相談者の割合 **日本人：外国人 = 5：5**
※昨年度同期 日本人：外国人 = 6：4
- インバウンドが**RSアプリを開く**件数が**急増**

※RS:ライドシェア

- RSアプリが利用できない
- 英語が伝わらない⇒タクシー利用は**少**

他の移動手段を選択

- 外国人の**4割**が**バス券**を購入
(人気:「1日フリー乗車券」、「アフリカンサファリ入園料+バス1日乗車券」)
- 外国人の主な交通手段は **バス**、レンタカー、タクシー
※**半数以上**が**バス**を利用
- 湯布院方面で**積み残し状態** (午前中に集中)

8

インバウンドの供給量の現状

【各事業者のヒアリング調査結果】

バス

積
残
多
数

- 1 対応できるよう努力はしているが、利用者数が想定を**かなり超えている**
- 2 どのバス停でどれくらい積み残しがあるのかは**統計が取れていない**
- 3 積み残しの状況によって、都度判断し、**可能な限り**続行便を出している
- 4 インバウンドばかりを対応すると**路線バスの運行に支障**をきたす

タクシー

利
用
少
な
い

- 1 外国人対応が可能な市内のタクシー事業者の運転手 **5名**
- 2 配車アプリを導入する事業者8社中**3社**
- 3 配車アプリの総アプリ登録者1300人程度（うち**外国人300人**）
- 4 実際に利用する人数 **100人程度**
- 5 **翻訳アプリ等を活用**して外国人対応する例もあるが、ほぼ会話ができない

※数量等が不明なものは除く

経済的な損失は**大きすぎる**

主な観光地の現状

主な観光施設	観光客数	うち外国人	交通手段	備考
地獄めぐり	1075千人	5～7割	レンタカー、バス	※圧倒的にレンタカーが多い
アフリカンサファリ	564千人	4割	レンタカー、バス	※別府市外の観光地（宇佐市）
別府ロープウェイ	358千人	4割	バス	外国人が困っている
地獄蒸し	121千人	2～4割	バス、タクシー、レンタカー	外国人は平日に多い
ひょうたん温泉	264千人	1割	バス、タクシー	
杉乃井ホテル	—	2割	レンタカー	シャトルバスに乗り切れない時もある
志高湖	97千人	1割	バス(中国・韓国が多い)	

人気観光施設のお困りごと

- ・バスの**最終便が行った後でも**、外国人が**バスを待っている**ことがよくある
- ・ロープウェイのバス最終便が**満員で積み残し**があり、仕方なく**歩いてホテルに帰る**との報告を受けている
- ・遅い時間（バスが終わると）などに日本語が話せない外国人の代わりにタクシーを呼ぶこともあるが、**断られることが多く**あり、よくても**配車までに30分以上**かかる

移動手段確保への取組み

別府市地域住民及び観光客の移動手段の確保のため今年度対策した主な事業

公共ライドシェア (湯けむりライドシェア)		日本版ライドシェア (3号)	
南部循環線	関の江循環線	繁華街	北部地域
定時定路線	定時定路線	ドアtoドア (オンデマンド)	ドアtoドア (オンデマンド)
運行開始 R6.6～	運行開始 R6.10～	運行開始 R6.12～	運行開始 R6.12～
運賃 1乗車200円 時間 8時～13時 運行間隔 30分に1本 使用車両 福祉車両	運賃 1乗車300円 時間 7時～18時 運行間隔 30分に1本 使用車両 福祉車両	運賃 タクシーと同額 時間 18時～25時 運行日 金曜・土曜 タクシーの遊休車両	運賃 タクシーと同額 時間 20時～23時 運行日 月曜～金曜 タクシーの遊休車両
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の日常生活の移動手段を確保 ・利用時間、乗降場所、ルートを特定（調査実施） ・意見交換会を4回実施 ・アンケート調査1200件 ・運転手は主婦などが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動弱者（高齢者・障害者・学生等）の日常の移動手段を確保 ・利用時間、乗降場所、ルートを特定（調査実施） ・意見交換会を6回実施 ・アンケート調査4000件 	<ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期など夜間のタクシー不足解消 ・帰宅の移動手段確保 ・地域経済の活性化 ・8台で運行 ・配車アプリ（REA） ・支払は原則現金 	<ul style="list-style-type: none"> ・特にタクシー不足が顕著な地域に補完 ・夜間帰宅の移動手段の不安や外出控抑制 ・移動手段の利便性の向上 ・2台で運行 ・支払は原則現金

11 解決できない原因（問題点）は？

現状	日本版ライドシェア	公共ライドシェア
<p>●インバウンドが急増し、移動需要への供給対策ができていない</p> <p>運転手不足解消が困難</p> <p>問題点 アプリの導入に後向き 多言語対応ができない キャッシュレス決済の遅れ</p>	<p>時間やエリアを限定したタクシー不足解消のための移動手段</p> <p>↓</p> <p>タクシー不足が条件 エリアと時間に制限がある</p>	<p>交通空白地域 解消のための移動手段</p> <p>↓</p> <p>交通空白地域が条件</p>
<p>●言語対応できないタクシーは敬遠される。タクシーも配車依頼をうけない</p> <p>問題点 英語が話せる運転手5名 アプリ導入事業者3社 (UBERなど汎用性が高いアプリはゼロ) 会話しなくても目的地に行けるインフラ整備の遅れ 電話でタクシーが呼べない (日本語が話せないから)</p>	<p>問題点 観光施設は市内外全域 観光時間に制限はない 首長の意向が反映困難 市外への移動に制限があり柔軟性に欠ける。 利用者目線の移動手段でない ⇒使いにくい ※タクシーの既得権となっている ・大分空港 (大分県国東市) ・アフリカンサファリ (大分県宇佐市) ・うみたまご・高崎山 (大分県大分市) ・ハーモニーランド (大分県日出町)</p>	<p>問題点 観光施設は市内外全域 観光施設は交通空白地域と認められない (バス・タクシーはある) タクシー事業者等からの抵抗が大きい 運行開始まで時間がかかる (調査⇒調整⇒交通会議⇒準備⇒運行開始) ※早くても約半年以上</p>

別府市からの提言

地域の特性を踏まえ、

地域経済や地域住民そして観光客にとって

交通サービスが乏しいと**首長が判断**する場合は、

公共RS 及び 日本版RS

柔軟な仕組みを導入することができる

地域の移動需要に対する裁量権の自由を首長に与える。

利用者の行きたい場所が市外であっても発着が実施主体の域内であれば運送することができる。

(公共RS・日本版RS)

交通空白地域の検討プロセスを大幅に緩和し、首長の判断で、迅速に公共ライドシェアを実施することができる。

(公共RS)

タクシー不足を営業区域内の自治体が申し出た場合、実施内容等を首長の意向に沿ったものにできる。

(日本版RS)